

一般社団法人 全日本テレビ番組製作社連盟

2021 年度 事業報告書

(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

The logo consists of the letters 'ATP' in a bold, black, sans-serif font. The 'A' is stylized with a diagonal slash through it. The 'T' and 'P' are solid and blocky.

目次

- p.3 2021 年度総括
- p.4 役員名簿
- p.5 組織戦略センター報告
 - 1. 財政基盤の安定・強化、予算の機動的運用
 - 2. 経営情報アンケートの実施
 - 3. 国内外の製作者との連携、海外展開
 - 4. 広報について
- p.6-7 メディアセンター報告
 - 1. コロナ禍における番組製作体制の確立
 - 2. 「働き方改革」推進の継続
 - 3. 「製作取引の適正化」に向けた活動
 - 4. NHK の衛星波減少への対応
 - 5. メディア委員会
 - 6. 製作会社主体のコンテンツ展開推進
 - 7. 「ATP の主張」
- p.7-8 事業センター報告
 - 1. 第 37 回 ATP 賞テレビグランプリ
 - 2. TV CREATORS FES 2023 東京
 - 3. 育成とセミナー
 - 4. インターンシップ
 - 5. 第 10 回 ATP 若手映画プロジェクト
- p.8-9 関西センター報告
 - 1. 第 9 回 ATP 上方番組大賞、関西新春交流会の実施
 - 2. TV CREATORS FES 2023 大阪
 - 3. 関西協議会の開催
 - 4. 在阪放送局との協議
- p.8-19 2021 年度活動記録（2021 年 4 月～2022 年 3 月）
新人研修、インターンシップ、フェス
ATP 賞、Tokyo Docs メディア委員会
局訪問、推進協議会、他
その他（総会、理事会、入退会）
- P19-20 その他

【2021年度総括】

コロナショック2年目となる当年度の活動は、依然縮小状況にあります。懇親会を伴う事業の中止もいくつかありました。しかし、行動様式・製作様式の変化に対応し、デジタル化が急速に進みました。各事業はオンライン環境を加えたハイブリッド開催に切り替えることによって、経費節減や効率化などのメリットが生まれました。ATP賞受賞式や学生に向けたイベントは、遠方からの参加が可能となりました。その結果、コロナショック1年目の前年度と比べると、活動の幅は広がった1年と言えます。事業縮小の中でも成果を上げながら、デジタル化による支出減少などで、黒字決算となりました。財政は安定しています。詳細は各センターより報告いたします。未曾有の事態の中、例年と変わらぬ会員各社のご理解とご協力、そして理事、執行理事並びに各プロジェクトの実行委員各位の活動に深く感謝を申し上げる次第です。

コロナ禍で疲弊した人々の心には、映像エンターテインメントが必要であることを再認識しました。苦悩の時代に心休まる映像をお届けしようと、製作意欲が高まった製作者も多いと思います。しかしコロナ禍の製作環境には制限が多く、もがき苦しんだ一年でした。このような状況を受け、前年度は各放送事業者に製作現場での防疫対策や経費の負担軽減を申し入れました。全てが解決したとは言えないものの、当年度も継続して協議の効果があつたと考えています。

2022年4月には各局の放送同時配信が出揃います。現在は放送の補助的な映像提供サービスにも見えますが、権利処理の円滑化につながる法改正も行われました。将来的に見れば、製作会社にとって重要なマーケットとなる可能性が十分にあります。サービス開始に先駆けて要望書を作成、製作会社にとって不利益がない様、各放送事業者に申し入れをしました。

ポストコロナに向けたプロジェクトもスタートしました。最先端のデジタル技術を用いて、仕事やビジネスの手法やプロセスを変革するDX(デジタルトランスフォーメーション)導入の実現を目指し組織戦略センターを中心としたチームが動き始めました。DXの導入が国内国外問わず新たなビジネスを生み出し、製作会社の未来を大きく変えると考えています。

映像産業始まって以来の変革期でありながら、2021年度も新型コロナ感染拡大によって製作活動は停滞しました。不安定な状況が続く中、ATP各センターは柔軟な姿勢で「今できること」に取り組んだ一年でした。

一般社団法人全日本テレビ番組製作社連盟
理事長 福浦 与一

【役員名簿】

当年度は、下記の理事メンバーにて事業活動にあたった 《所属会社、役職は 2022 年 1 月当時》

氏名	所属社名	役職	
福浦 与一	IVS テレビ制作(株)	代表取締役社長	理事長
相川 弘隆	(株)いまじんホールディングス	代表取締役社長	副理事長
長谷川 豊	(株)レジスタ X 1	代表取締役	副理事長
山田 治宗	テレコムスタッフ(株)	代表取締役	副理事長
三門健一郎	ATP 事務局		専務理事
伊藤 慎一	(株)シオン	代表取締役会長 CEO	理事
碓田 千加志	(株)東阪企画	代表取締役社長	理事
梅原 高実	ユニオン映画(株)	代表取締役社長	理事
大野 光浩	(株)えすと	代表取締役社長	理事
荻原 伸之	(株)ジッピー・プロダクション	代表取締役	理事
川口 伸之	(株)大河プロダクション	代表取締役	理事
河野 純基	(株)ダイメディア	代表取締役	理事
佐野 奈緒子	(株)C.A.L	プロデューサー	理事
田嶋 敦	(株)東京ビデオセンター	代表取締役社長	理事
中川 幸美	(株)クリエイティブネクサス	取締役	理事
沼田 通嗣	(株)テレパック	取締役	理事
松葉 直彦	(株)テレビマンユニオン	取締役待遇 エグゼクティブプロデューサー	理事
森田 道明	(株)ジェイワークス	代表取締役相談役	理事
井口 高志	(株)電通	コンテンツビジネス・デザインセンター IP・ビジネス開発 2 部 シニア・プロデューサー	理事
音 好宏	上智大学文学部新聞学科	教授	理事
吉村 文雄	東映(株)	常務取締役	理事
浦谷 年良	(株)テレビマンユニオン	エグゼクティブプロデューサー	監事
倉内 均	(株)アマゾンラテルナ	取締役会長	監事

【事業報告】

＜組織戦略センター＞ 副理事長・センター長 山田治宗

1. 財政基盤の安定、強化、予算の機動的運用

ATP 賞を始めとする主要事業については、独立採算型の予算で安定した運営を推進致しました。前年度に続き、新型コロナウイルスの影響により、予定していた ATP 新春交歓会 2022、アジアドラマカンファレンスなどの海外イベントを中止。TV CREATORS FES 2023、メディア委員会、理事会を始めとする各種会議などもリモート開催としたため、事業費の支出が減少し、全体収支はプラスとなりました。新規会員の入会は、正会員 2 社、賛助会員 0 社という結果でした。

2. 経営情報アンケートの実施

7 月-8 月にかけて経営情報アンケートを実施致しました。アンケート実施時の会員社数 123 社、回答社数 72 社(昨年度 75 社)で、回答率は 59.0%(昨年度 61.0%)となり、前年度を若干下回る結果となりました。集計結果からは、全体的にはコロナ禍による一時的な傾向として減収増益となりましたが、コロナ収束後は制作費の減少により、利益確保が難しい状況が予想されております。引き続き今後の状況についても注視していきたいと思いません。

3. 国内外の製作者との連携、海外展開

新型コロナウイルスの影響により国内での活動や海外渡航の自粛もあり、「アジアドラマカンファレンス」や「日韓中テレビ制作者フォーラム」などは中止となりました。その為、当初予定していた K プロジェクト予算を活用しての、ATP 関係者の現地への派遣、視察などはありませんでした。

4. 広報について

当年度は、2 回の記者懇談会を開催いたしました。年度当初の 4 月の開催では、2021 年度の活動方針や事業活動、コロナ禍と働き方改革への取り組み、会員各社の新番組の広報などを行いました。7 月の ATP 賞受賞式の際に開催した記者懇談会では、グランプリ作品と、最優秀新人賞を発表。また 2 つのアンケート、「民放キー局放送同時配信の開始に向けて」、「在阪製作会社の現状について」の結果をそれぞれ説明、質疑応答を行いました。デジタルマーケティングでは、ATP 賞、上方番組大賞のグランプリ発表時の発信や日頃の ATP の活動の様子を随時発信致しました。

＜メディアセンター＞ 理事・センター長 中川幸美

1. コロナ禍における番組製作体制の確立

新型コロナウイルスの安全対策をとるための制作日数確保や制作費増への対応、積み上

げ方式による見積りなど放送事業者との協議、交渉を活動方針に掲げておりましたが、民放各局との放送番組同時配信についての協議などもあり、コロナ禍での安全対策については、協議の場を設ける事が出来ませんでした。各社の状況を再調査し次年度以降、継続課題として各放送事業者との協議の場を設け、あるべき体制の確立を促進していきます。

2. 「働き方改革」推進の継続

前年度の3月に福浦理事長、メディアセンターの局担当者を中心とした働き方改革プロジェクトチームのメンバーにて放送事業者へ働き方改革推進のお願いを行いました。当年度は、放送事業者へのお願いの機会はありませんでした。長時間労働については、以前に比べ改善の傾向が見られるものの、個々のジャンルや制作現場により労働時間が増えている例も散見されています。1月の新年表敬訪問の際に、働き方改革の協議開催のお願いをし、放送局側からもご理解をいただきました。

3. 「製作取引の適正化」に向けた活動

総務省放送コンテンツの適正な製作取引の推進に関する検証・検討会議及びワーキンググループにおいては、総務省ガイドラインの改訂（第8版）に向け放送事業者と製作会社間の取引適正化について諸課題を整理し、進めていただくよう要望致しました。ATPと民放連が共同事務局を務めている放送コンテンツ適正取引推進協議会においては、協議会テキストの改訂に伴うオンライン研修会を開催し、放送事業者、番組製作会社の皆様に周知、啓発を行いました。また、オンライン研修会に参加出来なかった方々に向けてアーカイブ配信のお知らせを行い、視聴のお願いを致しました。

4. NHK 放送波減少への対応

NHK 定期協議において、放送波の減少に伴い製作会社への総制作費が減少する事のないよう検討いただきたいとのお願いをしました。また、実態を把握する為に、以前提示されていた外部発注比率に変わる何らかの数値を提示いただきたい旨をお願いしました。NHKからは、外部制作比率に代わる数値の算出を検討したいとの回答をいただき、次年度の課題として交渉を継続して参ります。

5. 「メディア委員会」

下記4回のメディア委員会をオンラインにて開催し、周知、共有に努めました。それぞれのテーマは、下記のとおりです。

5月18日 第35回「新入社員が失敗しないための著作権基礎講座」

10月12日 第36回「番組製作における『差別』を考える」

2022年1月17日 第37回「配信プラットフォームの戦略と流儀」

2022年3月15日 第38回「教育機関での著作物利用に係る新たな補償金制度について」
「改正著作権法で同時配信権利処理実務の何が変わるか」

6. 製作会社主体のコンテンツ展開促進

ATPが主催する「Tokyo Docs 2021」は11回目の実施となり、11月1日～15日にわたり、全面オンラインにて開催いたしました。バーチャルプラットフォーム「Virtual Tokyo Docs」をメインバーチャル会場として、提案者や海外ゲストはそこから「ピッチング」「個別オンライン商談」に参加しました。今回は、16本の番組企画と6本の短編作品を提案し、海外ゲストは47名が参加しました。

7. 「ATPの主張」

メディアセンターにおいて改訂に向けた議論を行いました。具体的な改訂作業を進めるまでには至りませんでした。引き続き次年度の継続項目として放送同時配信などの進展を注視しつつ、環境の変化にも対応できるよう改訂を進めていきたいと思っております。

<事業センター> 副理事長・センター長 相川弘隆

1. 第37回 ATP賞テレビグランプリ

受賞式は、前年度に引き続き受賞者のみの参加とし、7月7日に開催しました。番組部門172作品の頂点となるグランプリには、ドキュメンタリー部門の「プロフェッショナル仕事の流儀 庵野秀明スペシャル」（スローハンド、NHKエンタープライズ/NHK総合）が輝きました。最優秀新人賞には、優秀新人賞5名の中から榎本雪子さん（オルタスジャパン）が選出されました。受賞式の模様は、VIMEO内ATP賞特設サイトにて、受賞式翌週より、放送局、関連団体、ATP会員社、受賞関係者に向けて配信を行いました。

2. TV CREATORS FES 2023 東京

東京と大阪を同日開催とし、WEBでの開催と致しました。東京からの出展社は計28社。午後以降も多くの学生にサイト内に残ってもらえるよう、お昼過ぎの時間帯に「先輩クリエイターに聞く 業界で活躍できる強みの見つけ方」と題した自己分析講座を実施しました。また、学生への事前の周知においては、マイナビの大規模イベントでチラシを配布するなど広報にも力をいれ、前年同様、全国より多くの学生に参加していただく事が出来ました。

3. 育成とセミナー

「ATP合同新人研修WEBセミナー2021」については、WEBで開催としました。会場で実施していたプログラムを出来る限りWEB上でも行えるよう工夫し、2日間で計7つのプログラムを実施しました。参加者は、32社より145名。研修では、社会人としての基

本である「マナー研修」、「コンプライアンス研修」に加え、1つの番組が放送されるまでをケーススタディを通して学ぶ「テレビ番組が出来るまで」等の講義が行われました。また、初めての実施となりました「ちょっと上の先輩に聞こう！」では、3~4年目の先輩に新入社員の不安や疑問に座談会形式で答えて頂き、参加者からは「年齢が近い先輩だからこその話がたくさん聞けてとても参考になった。」などの意見が寄せられました。

4. インターンシップ

ATP サマーインターンシップについては、新型コロナウイルス感染症蔓延の状況を鑑み、前年度に引き続き中止といたしました。TV CREATORS INTERNSHIP 2023

(半日インターンシップ)は、前期を6月~9月、後期を11月~2月とし、WEBにて全20回開催いたしました。全国より2,121名のエントリーがあり、昨年の554名を大幅に上回る669名の学生に参加していただく事が出来ました。

5. 第10回 ATP 若手映画プロジェクト

企画の募集を、6月1日より開始し、10月末締切りで募集を行いましたが、当年度の応募企画は、ございませんでした。

<関西センター> 副理事長 長谷川豊 理事・センター長 森田道明

1. 第9回 ATP 上方番組大賞

2022年1月25日に受賞者1名のみに来場を限定し、ザ・リッツカールトン大阪にて受賞式を開催いたしました。受賞式では、受賞者への贈賞とグランプリ及び最優秀新人賞の発表を行いました。グランプリは、優秀賞6作品の中から、「卒業 RECORD #ソツレコ」(MBS企画/毎日放送)が輝き、最優秀新人賞には、新人賞5名の中から、重谷綾梨さん(ytv Nextry)が選出されました。受賞式の様子はATPの公式YouTubeチャンネルでのライブ配信及びアーカイブ配信を行いました。アーカイブの総視聴回数は、260回となりました。

2. TV CREATORS FES 2023 東京大阪

当年度は、東京と大阪を同日開催とし、完全にWEBでの開催と致しました。関西会員社8社より出展があり、梅田にあるマイナビスタジオより各社がWEB配信を行いました。

3. 関西協議会の開催

10月12日新梅田研修センターにて関西会員社の代表取締役や役員、15社16名の参加により関西協議会を開催しました。協議会では、第9回ATP上方番組大賞や、在阪局訪

問の報告と今後について検討を行いました。在阪局訪問の報告では、事前に送付した質問書について、各局からの回答をご説明し、状況や今後の対応など共有致しました。

4. 在阪放送局との協議

7月26日、27日の2日間にわたり在阪放送局への訪問を行い、事前に送付した質問書への回答をいただき、働き方改革、制作経費の立て替え、新卒採用や退職者など、在阪製作会社が抱える課題について改善や協力などをお願いをしました。コロナの影響もありその後継続的な協議が出来ず、具体的な進展はありませんでした。引き続き次年度の継続課題として在阪各局をお願いをしていきたいと思っております。

【2021年度活動記録】

※敬称略 ※会社名・肩書きは当時のもの

《2021年》

4月

●ATP 合同新人研修セミナー2021

日時：4月6日(火)～7日(水) Zoom 開催

参加者：32社 145名

プログラム：

『コンプライアンス研修』講師：後藤俊哉（日本テレビ放送網）、林恭子（日本テレビ放送網）

『マナー研修』講師：井原恵津子（オフィス・グランツ）

（参考）その他プログラム <http://www.atp.or.jp/training/rookie.php>

5月

●第35回メディア委員会

日時：5月18日(火)16:00-18:30 Zoom 開催

内容：第1部 メディアセンター報告(「コロナ禍におけるテレビ番組制作のために」各局協議報告)

第2部 「新入社員が失敗しないための著作権基礎講座」

講師：福地研志(Field-R 法律事務所)

参加者：43社 217名

アーカイブ視聴数：265回

6月

●[初級]Tokyo Docs Online Workshop 2021

日時：6月12日(土)17:00-19:00 Zoom 開催

内容：Tokyo Docs 2021 の説明

企画提案書の書き方

参加者：27名

●[中級]Tokyo Docs Online Workshop 2021

日時：6月12日(土)19:15-20:45 Zoom 開催

内容：国際共同制作とは？国際プロデューサーとは？

ピッチングセッション後に何をすべきか？

講師：浜野高宏(NHK エンタープライズ)

参加者：32名

●放送コンテンツの適正な製作取引の推進に関する検証・検討会議（第18回）

・放送コンテンツ適正製作取引推進ワーキンググループ（第15回）合同会合

日時：6月25日(金)15:00-16:30 リモート開催

議題：(1)放送番組製作に携わるフリーランスに関する調査結果

(2)ガイドライン改訂に向けた論点項目（案）

(3)製作取引適正化に向けたガイドラインの遵守状況調査結果

(4)その他

●TV CREATORS INTERNSHIP 2023

日時：6月17日(木)14:00-17:30 Zoom 開催

参加者：35名

講師：長谷川泰久（アマゾンラテルナ）

パネリスト：村山太郎（メディアミックス・ジャパン）、田村優典（日企）

今井裕美（千代田ラフト）、菊地啓（日本電波ニュース）

●TV CREATORS INTERNSHIP 2023

日時：6月27日(土)14:00-17:30 Zoom 開催

参加者：41名

講師：桑原慶介（ジッピー・プロダクション）

パネリスト：岡本充史（AX-ON）、竜崎琢也（共同テレビジョン）

可香谷慧（ドキュメンタリージャパン）、西本香（東通企画）

7月

●[初級]Tokyo Docs Online Workshop 2021

日時：7月2日(金)17:00-18:30 Zoom 開催

内容：1部：Tokyo Docs の“Short Documentary Showcase”とは

2部：「今流行りのショートドキュメンタリーとは？」「求められる映像スタイルは？」

3部：「世界の映画祭の最新事情とショートドキュメンタリーの動向について」

講師：2部：金川雄策(Yahoo!クリエイターズプログラム チーフプロデューサー)

3部：本間貴士(札幌国際短編映画祭 マネージメントディレクター)

参加者：50名

●[中級]Tokyo Docs Online Workshop 2021

日時：7月2日(金)18:50-20:30 Zoom 開催

内容：自分を知る～何が世界標準と違うのか？～

乗るべき土俵を知る ～世界の常識 vs 日本の常識～
講師：浜野高宏(NHK エンタープライズ)
参加者：34名

●第37回 ATP 賞テレビグランプリ受賞式

日時：7月7日(水)17:00-19:00 ※後日期間限定アーカイブ配信
場所：六本木ヒルズ ハリウッドプラザ 5階 ハリウッドホール
来場者：スタッフ、受賞者、プレス、関係者 170名
司会：フジテレビ 内田嶺衣奈アナ
アーカイブ視聴回数：延べ1090回
受賞作品：

▼グランプリ

「プロフェッショナル 仕事の流儀 庵野秀明スペシャル」
スローハンド、NHK エンタープライズ/NHK 総合

▼最優秀新人賞

榎本 雪子 (オルタスジャパン)
「ザ・ノンフィクション 家族のカタチ ～ふたりのお母さんがいる家～」フジテレビ
(参考) その他受賞作品：http://www.atp.or.jp/awards/atpaward/award_037.php

●TV CREATORS INTERNSHIP 2023

日時：7月10日(土)14:00-17:30 Zoom 開催
参加者：40名
講師：宮澤祐樹 (いまじん)
パネリスト：伴瀬萌 (AOI.pro)、武藤由華 (共同テレビジョン)
相沢あやさ (NHK エンタープライズ)、神坂令奈 (クリエイティブネクサス)

●TV CREATORS INTERNSHIP 2023

日時：7月17日(土)14:00-17:30 Zoom 開催
参加者：42名
講師：桑原慶介 (ジッピー・プロダクション)
パネリスト：塩村香里 (TBS スパークル)、野中翔太 (AX-ON)
藤井雄真 (共同テレビジョン)、小田葉月 (いまじん)

●関西局訪問

7月26日(月)
テレビ大阪 10:30- 読賣テレビ 11:30- NHK 大阪 14:30-
7月27日(火)
毎日放送 14:00- 関西テレビ 15:00- 朝日放送 16:30-
議題：在阪製作会社の課題について

●TV CREATORS INTERNSHIP 2023

日時：7月29日(木)14:00-17:30 Zoom 開催
参加者：42名
講師：松葉直彦 (テレビマンユニオン)

パネリスト：多次見隼斗（メディアミックス・ジャパン）、高橋正子（シオン）
柳田香帆（テムジン）、端山竜二（エー・ビー・シー リブラ）

8月

●TV CREATORS INTERNSHIP 2023

日時：8月5日(木)14:00-17:30 Zoom 開催

参加者：39名

講師：長谷川泰久（テレビマンユニオン）

パネリスト：白石結菜（ホリプロ）、南村洋志（ジッピー・プロダクション）

寺峯時男（東京ビデオセンター）、喜友名沙希（MBS 企画）

●[初級]Tokyo Docs Online Workshop 2021

日時：8月10日(火)17:00-18:30 Zoom 開催

内容：Tokyo Docs 2021 「Short Documentary Showcase とは」

参加者：20名

●TV CREATORS INTERNSHIP 2023

日時：8月19日(木)14:00-17:30 Zoom 開催

参加者：38名

講師：宮澤祐樹（いまじん）

パネリスト：山本あづる（東阪企画）、加藤信（大河プロダクション）

篠原利恵（テレビマンユニオン）、喜友名沙紀（MBS 企画）

●局訪問 日本テレビ

日時：8月24日(火)15:00～16:00 Zoom 開催

議題：放送番組同時配信に関する要望及び今後の展開

●TV CREATORS INTERNSHIP 2023

日時：8月28日(土)14:00-17:30 Zoom 開催

参加者：34名

講師：桑原慶介（ジッピー・プロダクション）

パネリスト：零石瑞穂（テレパック）、長沼秀幸（えすと）

柳翔太朗（ダイメディア）、笹沼末冬（やんかわ商店）

9月

●[中級]Tokyo Docs Online Workshop 2021

日時：9月3日(木)18:00-20:00 Zoom 開催

内容：ギャップを埋めよう ～国際マーケットへの参加準備開始～

講師：浜野高宏(NHK エンタープライズ)

参加者：20名

●TV CREATORS INTERNSHIP 2023

日時：9月9日(木)14:00-17:30 Zoom 開催

参加者：34名

講師：宮澤祐樹（いまじん）

パネリスト：中西加奈（ユニオン映画）、馬場令華（やんかわ商店）

藤田成（日本電波ニュース）、長崎茉莉亜（東通企画）

●局訪問 フジテレビ

日時：9月9日(木)13:00～13:50

場所：フジテレビ

議題：放送番組同時配信に関する要望及び今後の展開

●局訪問 NHK

日時：9月14日(火)15:00-16:30

場所：NHK放送センター

議題：各社からの相談案件、コロナ対応について

4K・8Kスーパーハイビジョンの無期限無制限(放送カウント)について

共同著作番組の素材使用について、他

●TV CREATORS INTERNSHIP 2023

日時：9月16日(木)14:00-17:30 Zoom開催

参加者：39名

講師：松葉直彦（テレビマンユニオン）

パネリスト：北野拓（NHKエンタープライズ）、武藤由華（共同テレビジョン）

久保田暁（スローハンド）、池田翔（いまじん）

●放送コンテンツの適正な製作取引の推進に関する検証・検討会議（第19回）

・放送コンテンツ適正製作取引推進ワーキンググループ（第16回）合同会合

日時：9月16日(金)15:00-16:30 リモート開催

議題：(1)放送番組製作に携わるフリーランスに対する調査結果

(2)製作取引適正化に向けたガイドラインの遵守状況調査結果

(3)その他

●[中級]Tokyo Docs Online Workshop 2021

日時：9月30日(木)18:00-20:00 Zoom開催

内容：自分の企画の“売り”は何か？ ～企画に適したスキームを知る～

講師：浜野高宏(NHKエンタープライズ)

参加者：12名

10月

●第36回メディア委員会

日時：10月12日(火)16:00-18:30 Zoom開催

内容：第1部 メディアセンター報告(同時配信要望書と各局動きの報告)

第2部「番組製作における『差別』を考える」

講師：高田昌幸(東京都市大学メディア情報学部教授、ジャーナリスト)

長嶋甲兵(演出家・テレビ番組プロデューサー)
参加者：24社 184名(うち参加者 120名)
アーカイブ視聴数：105回

●関西協議会

日時：10月12日(火)15:00-17:00
場所：新梅田研修センター
議題：
◇第9回 ATP 上方番組大賞について
◇在阪局訪問の報告と今後について
◇TV CREATORS FES 2023 について、他

●[中級]Tokyo Docs Online Workshop 2021

日時：10月20日(水)18:00-19:00 Zoom開催
内容：個別相談会
講師：浜野高宏(NHK エンタープライズ)
参加者：1組

●局訪問 テレビ東京

日時：10月28日(木)17:00～18:00
場所：テレビ東京
議題：放送番組同時配信に関する要望及び今後の展開

11月

●局訪問 テレビ朝日

日時：11月4日(木)16:30～17:30
場所：テレビ朝日
議題：放送番組同時配信に関する要望及び今後の展開

●Tokyo Docs 「Kickstarter セミナー」

日時：11月18日(木)9:00-10:15 Zoom開催
内容：Kickstarter を使ってドキュメンタリーを世界に届ける方法
講師：中田美樹さん (Kickstarter Japan カントリーマネージャー)
参加者：24名

●Tokyo Docs 2021 11月1日(月)～11月15日(月) Zoom開催

配信会場：AP 東新宿(東京都新宿区歌舞伎町)
内容：
1日～2日 「ピッチング・セッション」 「Short Documentary Showcase」
1日～15日 「One on One Meeting(オンライン商談)」
参加者(ピッチ2日間)：ゲスト：78名／提案者：74名／オブザーバー：81名
ライブイベント参加者延べ人数：415名
アーカイブ動画視聴数：視聴申込数 61名(うち、有料視聴4名)

(受賞企画)

▼Best Pitch Award 最優秀企画賞(1 企画)

Tokyo Docs でピッチされた企画の中でディビジョン・メーカーの投票により最も優れていると評価された企画に贈る。開発支援金 100 万円。

「The Making of a Japanese/小学校ドキュメンタリー (仮) 」(Japan)

ディレクター：山崎 エマ(Cineric Creative Japan)

プロデューサー：エリック・ニアリ(Cineric Creative Japan)

▼Excellent Pitch Award 優秀企画賞(5 企画)

Tokyo Docs でピッチされた企画の中でディビジョン・メーカーの投票により優れた企画として評価されたものに贈る。開発支援金各 50 万円。

「Fairy, Einstein and the Cherry Tree/妖精とアインシュタインと桜」(Japan)

ディレクター：井上 春生(ハグマシーン)

プロデューサー：中村 光博(テレコムスタッフ)

共同プロデューサー：菅野 誠(テレコムスタッフ)

「These Legs Are Made For Walkin'」(Japan)

ディレクター：ハーバート・ハンガー(スーパームーン・ピクチャーズ)

プロデューサー：水野 重理(スーパームーン・ピクチャーズ)

「Tara & Basanti/タラ&バサンティ」(India)

ディレクター：リントウ・トーマス(Black Ticket Films)

プロデューサー：スシュミット・ゴッシュ(Black Ticket Films)

共同プロデューサー：天野貴幸(東京ビデオセンター)

「The Bear and the Piano/クマと森のピアノ」(Japan/Poland)

ディレクター：チェン・ハンシン(CHENG HERNG SHINN FILMS)/ピョートル・ベルナス(Hugo Films)

プロデューサー：エワ・ホフマン

「Destiny/サハルの選択」(Iran)

ディレクター：ヤセル・タレビ(ELI Image)

プロデューサー：エラヘ・ノバク(ELI Image)

共同プロデューサー：右近雅美(NHK エンタープライズ)

(参考)その他受賞作品 <https://tokyodocs.jp/news/D9viRYzP>

●TV CREATORS INTERNSHIP 2023

日時：11月9日(木)14:00-17:30 Zoom 開催

参加者：34名

講師：桑原慶介(ジッピー・プロダクション)

パネリスト：中島叶(ホリプロ)、杉浦拓朗(CURIOUS PRODUCTIONS)

柴奈保子(いまじん)、山本あづる(東阪企画)

●局訪問 TBS

日時：11月17日(木)16:00~16:40

場所：TBS

議題：放送番組同時配信に関する要望及び今後の展開

●TV CREATORS INTERNSHIP 2023

日時：11月20日(土)14:00-17:30 Zoom開催

参加者：34名

講師：松葉直彦（テレビマンユニオン）

パネリスト：中島叶（ホリプロ）、佐藤英悟（大河プロダクション）

立野直之（ダイメディア）、森田祥平（やんかわ商店）

●TV CREATORS INTERNSHIP 2023

日時：11月30日(火)14:00-17:30 Zoom開催

参加者：31名

講師：宮澤祐樹（いまじん）

パネリスト：植木さくら（AOI Pro.）、竜崎琢也（共同テレビジョン）

後藤真実子（エー・ビー・シー リブラ）、関峻也（東京ビデオセンター）

12月

●Tokyo Docs ドキュ・メント 2021 12月5日(日)-6日(月) YouTube Live開催

場所：一龍屋台村で配信

内容：制作者によるトーク&上映会 など

●TV CREATORS INTERNSHIP 2023

日時：12月10日(金)14:00-17:30 Zoom開催

参加者：28名

講師：長谷川泰久（アマゾンラテルナ）

パネリスト：南村洋志（ジッピー・プロダクション）、知念美里（テレパック）

菅谷陽介（シオン）、加藤信（大河プロダクション）

●TV CREATORS INTERNSHIP 2023

日時：12月21日(火)14:00-17:30 Zoom開催

参加者：23名

講師：宮澤祐樹（いまじん）

パネリスト：奥村麻美子（ホリプロ）、小泉開渡（ジッピー・プロダクション）

池田一葵（テレビマンユニオン）、竜崎琢也（共同テレビジョン）

●局訪問 NHK

日時：12月22日(水)17:00-18:40

場所：NHK放送センター

議題：「取引基準」民法改正に関わる修正案について

共同著作番組の素材使用について

「取引基準」外部制作25条の「自己使用」について

外部制作の4K/8K番組 「2年6回」の適用について、他

【2022年】

1月

●TV CREATORS INTERNSHIP 2023

日時：1月8日(土)14:00-17:30 Zoom 開催

参加者：24名

講師：桑原慶介（ジッピー・プロダクション）

パネリスト：相羽めぐみ（TBS スパークル）、佐伯梨奈（レジスタエックスワン）

永田一行（テレビマンユニオン）、根本紘希（ユーコム）

●第37回メディア委員会

日時：1月17日(月)16:00-18:30 Zoom 開催

内容：第1部 メディアセンター報告

（NHK 協議／WOWOW 契約書／AVOD テレビ東京と日本脚本家連盟の合意内容）

第2部 「配信プラットフォームの戦略と流儀」講座

講師：長谷川朋子（テレビ業界ジャーナリスト／コラムニスト／放送ジャーナル社取締役）

参加者：33社 95名

アーカイブ視聴回数：38回

●TV CREATORS INTERNSHIP 2023

日時：1月18日(火)14:00-17:30 Zoom 開催

参加者：22名

講師：松葉直彦（テレビマンユニオン）

パネリスト：佐藤慎太郎（ホリプロ）、山内かのこ（東阪企画）

小泉真也（東京ビデオセンター）、上岡萌（NHK エデュケーショナル）

●放送コンテンツの適正な製作取引の推進に関する検証・検討会議（第20回）

・放送コンテンツ適正製作取引推進ワーキンググループ（第17回）合同会合

日時：1月17日(月)13:00-14:30 リモート開催

議題：(1)ガイドライン改訂に向けた関係団体からのプレゼンテーション

(2)令和3年度フォローアップ調査

(3)その他

●第9回 ATP 上方番組大賞 受賞式

日時：1月25日(火)

会場：ザ・リッツカールトン大阪

配信：ライブ配信(13:30～14:15頃)

アーカイブ配信：終了後～2月25日(金)

グランプリ【卒業RECORD #ソツレコ】

（株式会社MBS企画 / 毎日放送）

最優秀新人賞【重谷綾梨（ytvNextry）】

※受賞作品等、詳細は、ATP ホームページよりご確認下さい。

http://www.atp.or.jp/awards/atpaward_kansai/award_009.php

●TV CREATORS INTERNSHIP 2023

日時：1月27日(木)14:00-17:30 Zoom 開催

参加者：30名

講師：宮澤祐樹（いまじん）

パネリスト：藤崎祥太郎（ユニオン映画）、日下潤（えすと）
戸田有司（オルタスジャパン）、山本あづる（東阪企画）

2月

●TV CREATORS INTERNSHIP 2023

日時：2月4日(金)14:00-17:30 Zoom 開催

参加者：31名

講師：松葉直彦（テレビマンユニオン）

パネリスト：櫻田惇平（ホリプロ）、東賢一（クリエイティブ・ジョーズ）
杉本美泉（テムジン）、本郷達也（メディアミックス・ジャパン）

●放送コンテンツ適正取引推進協議会「よくわかる放送コンテンツ適正取引 オンライン研修会」

日時：2月8日(火)15:00-17:00

場所：Zoom によるリモート開催

講師：池田朋之（民放連・下請取引専門部会長／㈱テレビ東京・執行役員）

松村俊二（ATP・メディアセンター執行理事／㈱共同テレビジョン・権利開発部部长）

●TV CREATORS INTERNSHIP 2023

日時：2月15日(火)14:00-17:30

参加者：28名

講師：長谷川泰久（アマゾンラテルナ）

パネリスト：櫻田惇平（ホリプロ）、柚俊輔（いまじん）
木村竜太（ドキュメンタリージャパン）、竜崎琢也（共同テレビジョン）

3月

●局訪問 NHK

日時：3月1日(火)15:00-17:00

場所：NHK 放送センター

議題：「取引基準」民法改正に関わる修正案について

共同著作番組の素材使用について

「取引基準」外部制作 25 条の「自己使用」について

外部制作の 4K/8K 番組 「2年6回」の適用について、他

●第 38 回メディア委員会

日時：3月15日(火)16:00-18:00 Zoom 開催

内容：第 1 部 メディアセンター報告

第 2 部 「教育機関での著作物利用に係る新たな補償金制度について」講座

第 3 部 「改正著作権法で同時配信権利処理実務の何が変わるか」講座

講師 第 2 部 田嶋炎(日本民間放送連名参与

／授業目的公衆送信補償金等管理協会 (SARTRAS) 理事)

第 3 部 福地研志氏(Field-R 法律事務所)

参加 24 社 39 名

アーカイブ視聴 6 回

●TV CREATORS FES 2023 東京・大阪合同開催

日時：3月20日(日) 10:00~19:00

会場：Web開催

出展社：36社(東京28社/大阪8社)

【その他】

1. 総会

●第9回通常総会(決算総会)

日時：2021年6月1日(火) 16:00 - 17:00

場所：コンベンションホール AP 浜松町 地下1階「Oルーム」及びリモート会議

審議事項：

第1号議案 2020年度事業報告書および決算報告書 承認

第2号議案 「役員候補者選出手続規定」改訂案について 承認

報告事項：2021年度事業計画、2021年度収支予算

2. 理事会 2021年度の理事会は、全6回開催しました。

●第50回定例理事会

日時：6月1日(火)14:30-15:30

場所：リモート会議

審議事項：

第37回 ATP 賞特別賞選考について 承認

MPTE AWARDS 2021 第74回表彰式後援名義申請について 承認

●第51回定例理事会

日時：7月30日(金)14:30-16:30

場所：リモート会議

審議事項：

TV CREATORS FES 2023 について 承認

日脚連 放送使用等に関する覚書「再放送使用料改訂」ATP 回答(案)について 承認

●第52回定例理事会

日時：9月24日(金)14:30-16:00

場所：リモート会議

審議事項：報告事項のみ

●第53回定例理事会

日時：11月26日(金)14:30-16:00

場所：コンベンションホール AP 浜松町 地下1階「ルーム A」

審議事項：

新春交歓会 2022 について 承認

新規入会社について 承認

●第54回定例理事会

日時：1月28日(金)15:00-16:30

場所：リモート会議

審議事項：

WOWOW 契約書改訂について 承認

2022 年役員改選について 承認

●第 55 回定例理事会・次期役員候補者会合

日時：2022 年 3 月 25 日(金)14:30-16:00

場所：ビジョンセンター 浜松町 6 階 E 室

審議事項：

2022 年度事業計画書（案）について 承認

2022 年度予算書（案）について 承認

2021 年度 事業報告書（案）について

DX について 承認

NHK 取引基準改定について 承認

第 7 回関西放送機器展 後援名義使用について 承認

入会について 承認

●メールによる審議

2020 年度決算案について 承認 2021 年 5 月 11 日

キー局同時配信に関する要望書について 承認 2021 年 8 月 20 日

新規入会社について（太陽カンパニー） 承認 2021 年 10 月 21 日

NPO 法人日本ビデオコミュニケーション協会

第 160 回セミナーご後援名義使用について 承認 2022 年 3 月 7 日

3. 入退会

●入会

株式会社太陽カンパニー(11 月)

株式会社ディーレック(12 月)

●退会

株式会社ルーカス(4 月)

株式会社カイエン(3 月)

以上